

科学館展示リニューアル基本計画について

1 展示リニューアル基本計画策定の趣旨

科学館では、平成 12 年度と 13 年度に行った展示の一部更新を除き、その多くが平成 2 年の開館当時のままで経年劣化が進んでいる。また、最新の科学技術情報を求める利用者ニーズの変化もあり、それらに対応するべく、21 世紀の学都仙台にふさわしい総合的な科学系博物館をめざして、館内や局内の関係部署とともに展示リニューアルの基本的な方向性やコンセプト等をまとめた「展示リニューアル基本構想」を策定した。

この「展示リニューアル基本構想」を踏まえて、各展示室の展示構成、展示アイテムの種類や内容、基本的な仕様などを示した「展示リニューアル基本計画」を展示専門業者に作成を委託し、協議を重ねながら計画の策定を進めている。

2 展示リニューアル基本計画策定業務の工期

平成 25 年 10 月 31 日～平成 26 年 3 月 20 日

3 展示リニューアル基本計画策定業務の内容

現在の施設及び展示の状況を整理した上で、以下の検討及び作成を行う。

- (1) 施設内配置計画、空間構成計画、動線計画の作成
- (2) 展示物、展示方法の検討
- (3) 展示物（造作、什器、照明、音響、映像等）の基本計画
- (4) 展示解説（パネル、映像ソフト等）の基本計画
- (5) 概算事業費の算出
- (6) 基本計画書

4 展示リニューアル基本計画策定業務の進捗状況（平成 26 年 1 月現在）

展示リニューアル基本構想を受け、3 階生活系展示室の大幅リニューアルを実施するための空間構成（ゾーニング）の考え方を整理した。（別紙資料 1、2 参照）

今後は、各コーナーやシンボル展示の具体的な内容について検討を進める予定である。